

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 第3学年 「国語（教育出版）」

74時間（70%）

週	重点に置く指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	Cアウ Aアイ Cア 伝イ（イ）	一 言葉を探る	春に	1	・繰り返している表現に着目して、自分なりに朗読させる
			一言でまとめ一言から広げる	1	・進め方によって対話することを中心の活動とする（状況によっては時期をずらして行う）
			立ってくる春	1	・文脈の中における語句の効果的な使い方に重点を置いて指導する
			私	3	・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深めることを中心の活動とする
3	Bア 伝ウ（アイ）		広告を批評する	2	・「広告コピーと批評の観点の例」に従って、自分の考えを書き、互いの文章を読み合わせる
			漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	1	・「練習」は家庭での課題とし、後日確認する
4	Cイエ	二 関係を生きる	「新しい博物館」の時代	4	・文章における論理の構成や展開、文脈における語句の使い方を捉えることを中心の活動とする
5	Aウ Cカ 伝イ2年		話を聞いて自分の表現に生かす	1	・講演会を想定して、自分の表現に生かすための聞き方を指導する（講演会がある場合は関連させる）
			漢字の広場2 熟字訓 言葉の小窓1 和語・漢語・外来語	1	・それぞれのポイントについて簡潔に指導する ・「練習」や「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
6	Cオ Cウオ Cエ 伝イ2年	三 歴史をひらく	【読書への招待】無言館の青春	2	・一読し、感想を交流した後、自分の読書生活を広げることに重点をおいて指導する ・ビブリオバトルに取り組みさせてもよい（準備は家庭での課題とする）
			情報を編集するしかけ	2	・同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読ませた上で、情報を編集するしかけを捉えていくことを中心の活動とする
			言葉の小窓2 慣用句・ことわざ	1	・231ページ～や資料集等を参考にして、慣用句とことわざの働きや使い方を指導する
			文法の小窓1 活用のない付属語	1	・237ページ～を基に、助詞の違いが文の意味に与える影響があることを理解させる（→参考：県教委オンラインサポート授業） ・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
7	Cイウ Cウエ	四 論理を問う	文字を効果的に使う	1	・手書き文字と活字文字の特徴をおさえる
			歴史は失われた過去か	3	・事例の取り上げ方、述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有することに重点をおいて指導する
8	Cウエ		文化としての科学技術	4	・二つの教材文の構成や論理の展開、表現の仕方を比較し、「ここが大事」の段落A、Bに、具体例や解説を加筆・修正することを中心の活動とする
9	Bイ		図表などの資料から文章を書く	3	・資料の読み取り方、引用の仕方に重点をおいて指導する
10	伝イ（ア） 伝イ2年		言葉の小窓3 敬語	1	・100ページの課題を考えた後、234ページ～の解説を読み、敬語の誤用やゆれをおさえる ・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
			文法の小窓2 活用のある付属語	1	・244ページ～を基に、助動詞の役割、その種類と働きを理解させる（→参考：県教委オンラインサポート授業） ・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
	書写	様々な文字や筆記具		1	・筆記具の特徴とそれぞれの効果をおさえる
11	Cア 伝ア（ア）	五 文化をつなぐ	旅への思い －芭蕉と『おくのほそ道』－	4	・各場所の概要を捉えさせながら紀行文の特徴をおさえ、作者のものの見方に触れさせる ・印象に残った句を引用して内容を紹介する文章を書くことを通して、引用の方法を指導する
12	Cアウ		和歌の調べ	3	・和歌一首一首を詳細に理解させるのではなく、それぞれの歌集の特徴をおさえることに重点をおく
13	Bウ		和歌の鑑賞文を書く	2	・教科書の中から印象に残った和歌を選び、和歌の具体的な表現を用いながら鑑賞文を書かせる ・推敲のポイントを基に、文章全体を整えることを中心の活動とする
14	Cア 伝ア（ア） Cオ 伝イ（イ）		風景と心情	3	・漢詩特有の言葉遣いやリズムをおさえ、当時と今の人の気持ちを比較させる
			【読書への招待】最後の一句	2	・一読し、あらすじを捉えた後、我が国を代表する近代作家について理解させる ・学校図書館を活用し、「本の世界へ」を参考にして名作を選書し、簡単な感想を書かせる（本を読み簡単な感想を書くのは家庭での課題とする）
15	伝ウ（アイ）			漢字の広場3 異字同訓	1

	書写	書写技能のまとめ			
				1	・行書の特徴を中心に確認する（毛筆と硬筆）
16	Bエ Cアウ	六 語りと向き合う	近代の俳句	2	・各自が俳句を創作し、句会を開くことで優れた表現に触れることを単元のゴールの姿とする ・「みちるべ」を参考に14句を鑑賞することで俳句の特徴をおさえ、創作の参考とさせる
	Cイウ		初恋	1	・表現上の工夫点に注意しながら、暗唱することを中心の活動とする
17	Cイウエ		故郷	5	・本文が長いので、家庭で事前に読むことを課題とし、導入段階で大まかなあらすじを確認する ・現在と過去の対比表現に着目して内容を捉え、作品の構成や展開について批評することを中心の活動とする
18	Aアイ Bエ		自己PR文を読み合う	2	・相手の設定を明確にして、自分のことをよりの確に伝える文章を書かせた後、互いの文章を読み合い、自分の表現に生かすことを中心の活動とする
			スピーチで学びを振り返る		・小グループでスピーチを聞き合う設定にする ・場の状況や聞き手を明確にして、相手の反応を見ながら敬語で話すことに重点をおいて指導する
	伝イ(イ) 伝ウ(アイ)		漢字の広場4 四字熟語	1	・「練習」は家庭での課題とし、後日確認する
19	Aエ	七 対話をひらく	課題を解決するために話し合う	4	・それぞれの役割や合意形成について指導した後、教科書の議題例を参考にして身近なテーマを設定し、役割分担をして会議を開く ・会議を開く前に、一読し、特に、195ページの「問題解決の基本的なプロセス」をおさえる
			「対話力」とは何か		
20	B		自分の作品集をつくる（＊3）	3	・3年間の「書くこと」のまとめとし、生徒の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点を置いて指導する
21	C		パースデイ・ガール	3	・3年間の「読むこと」のまとめとし、生徒の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点を置いて指導する ・全ての教材を扱う必要はない
			花を贈る		
			自分自身に		
	書写	一年間のまとめ		2	・（＊3）と関連させてもよい（作品集の表紙等）

【時間数の精選方法（例）】

○3領域のどの指導事項に重点を置くのかを明確にする

・各領域ともに、複数の指導事項を万遍なく指導するのではなく、この教材では、どのような力（指導事項）を身につけさせるのかを明確にすることで、授業時間の削減が可能となります。例えば、単元1「私」では、指導事項イの「場面や登場人物の設定の仕方」を中心に指導し、単元6「故郷」では、指導事項エ「文章を読んで人間、社会について考え、自分の意見をもつ」のために、互いの意見を交流させる指導を行います。「書くこと」、「話すこと・聞くこと」も同様の考え方をします。

○小単元をまとめて指導したり、家庭での課題にして補ったりする

・「漢字の広場」「言葉の小窓」「文法の小窓」については、まず、指導内容が既習事項なのか、新しい内容なのかを確かめます。新しい内容の場合、あわせて指導できる内容があるかを考えます。練習問題については、教科書巻末の問題やワーク等を家庭の課題とすることで、授業時間の削減が可能となります。なお、家庭での課題とする場合、生徒の達成状況を把握し、個への支援が必要なこともあります。

○読書単元は学校図書館を活用し、言語活動と結びつけ、読書生活を豊かにする

・読書教材については、指導事項が「読むこと」オ（※）になりますので、詳細な読みは行わないのが一般的です。言語活動例を参考にして、読書と言語活動を結びつけ、3領域の資質・能力を向上させるのが望ましいとされます。また、「読書への招待」、「読んでみよう」では、学校図書館を活用し、家庭での読書を促し、幅広い読書をさせることが可能となります。

○書写は取り立てた指導だけではなく、「書くこと」と関連させた指導も行う

・書写の指導については、中学3年生では、10単位時間程度行うものとあります。教育出版では、作品集を作成したり批評文や鑑賞文を書いたりする「書くこと」の領域の学習において、例えば、作品集の表紙や原稿用紙の書き方を通して、配置・配列や漢字と仮名の調和、効果的な文字の書き方といった指導事項をおさえることが可能です。（本資料では、書写に取り立てた指導を5時間（50％）で作成しています。）

○感染症予防対策を踏まえた学習活動の工夫を行う

・教材文等の音読は、マスクをつけることや大きな声を出さないことを指示します。ペアや少人数での話し合い活動も、マスクや声の大きさなどを配慮して行いますが、教室の状況や生徒の実態によっては当分の間控えた方がよいでしょう。また、スピーチやプレゼンテーションなど、相手に向けて話す活動は、一定の距離をとって行います。インタビューなどのフィールドワークは、書くことの「情報の収集」と関連させるなど、単元の組み替えを行います。

※本資料は、中学校学習指導要領（平成20年9月）によって作成しています。